

山口市のまちづくり

ともに力をあわせてつくる「協働によるまちづくり」

市民の皆さんをはじめ事業者、大学等の教育機関、行政など、さまざまな特徴や得意分野(人・モノ・資金・知識・技術・情報など)を持つ人々や機関がともに力をあわせ、地域振興や課題解決に取り組む『協働によるまちづくり』を進めています。

◎広がる市民主体のまちづくり

山口市には、防災や見守りといった生活に身近な地域づくりや、子育てや福祉といったテーマで取り組む市民活動で活躍する市民が増えています。市も、市民主体の活動を応援しています。



交通不便地域における買物や通院などの移動手段を確保するため、住民が主体となって運行しているコミュニティタクシー



地域の未来に向けて市民の皆さんによる話し合い



見守り活動で安心・安全なまちを



災害に備えて避難訓練や土のうづくり

◎市民の活動拠点も充実

市内21地域にはそれぞれ地域活動の拠点として地域交流センターがあり、交流や生涯学習に活用されています。



合併後に新たに開設された「仁保」、「秋穂」、「嘉川」、「阿東」の各地域交流センター

高次都市機能が集積した「広域県央中核都市づくり」

山口都市核・小郡都市核を中心に、多くの人々に質の高いサービスを提供できる高次都市機能が集積した「広域県央中核都市づくり」を進めています。

◎湯田温泉おもてなしの街づくり

山陽路随一の湯量を誇る湯田温泉で「おもてなしの街づくり」を進めています。街なみ景観のまちづくりガイドラインを策定し、平成27年3月には、そのモデル施設となる湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」がオープンしました。



「狐の足あと」3つの足湯でほっこり。おいしい地酒も楽しめます



湯田温泉酒まつり

◎中心市街地活性化

JR山口駅や中心商店街を含むエリアでにぎわいの創出や居住人口の増加などを図る取組を進めています。



約320店舗で構成された一大商業空間。
イベントも盛りだくさん



中市町1番地区優良建築物等整備事業



平成27年7月整備の「一の坂川交通交流広場」。
かつて軽便鉄道の駅があったことになんだ遊具を設置



◎大内文化まちづくり

大内文化に息づく進取の気風を継承し地域資源を生かしながら、新たな個性を創造するまちづくりを進めています。



完成後のJR新山口駅のイメージ図

延長約170m、幅約10mの南北自由通路



JR新山口駅南北自由通路には、世界的な植物学者・アーティストであるパトリック・ブラン氏の監修制作による垂直庭園を設置。主に市内で採取された約140種の植物を地元の子どもたちと一緒に育てました

産業交流力アップ～山口らしさの創造～

●企業立地の促進

本市の特長である自然災害の少なさや豊富な人材、利便性の高い交通網などを活かして企業誘致を積極的に推進。この10年間で40社の企業立地が決まり、1,700人以上の雇用を創出しました。

平成24年1月に山口テクノパークに進出決定した
テルモ山口株式会社



●農林水産業の振興

農業では、多様な担い手の確保・育成支援、農畜産物のブランド化や6次産業化の推進、は場整備などの農業生産基盤の整備に向けた取り組みを、林業では、木材の安定供給や市内産木材の利用促進などの森林資源を活かした取り組みを、水産業では漁港の機能保全や特性を活かした商品開発をはじめ、海・川の豊かな恵みを活かした取り組みを進めています。



秋穂漁港海岸（大海地区）高潮対策事業



は場整備（南部地域）



6次産業化に向けた米粉製粉機



山口市の新たな特産品「柑味鮎」
(岩国川漁業協同組合と山口大学が共同開発)



間伐材の搬出

特色ある「学び」環境の整備

●教育なら山口

本市の小中学校では、他市に先駆け、教員免許を持った補助教員を多数配置しており、子どもたちの豊かな学びを支え、学力の向上に大きな成果をあげています。また、タブレット端末等のICT機器の積極的な導入や外国語指導助手の派遣など、グローバルな人材の育成にも取り組んでいます。



外国人指導助手との授業



教材の整備と充実を図るため、
授業にICT機器を活用

●地域の教育力を結集して子どもを育む

子どもたちの豊かな成長の支援や課題解決に社会全体で対応するため、保護者や地域が学校運営に参画する「コミュニティスクール」と地域ぐるみで学び・育ちを支える「地域協育ネット」の取組を一体的に推進しています。



山口市独自の個人的資源の登録制度
'やまぐち路傍(ろぼう)塾'



「地域協育ネット」の活動

●日本一本を読むまち

日本一本を読むまちを目指し、計画的な図書資料の整備やイベントの開催に取り組んでいます。



市内全6エリア（阿東・徳地・山口・小郡・秋穂・阿知須）に図書館を設置

子育て環境の整備

●乳幼児及びこども医療費助成

「乳幼児医療費助成事業」や「こども医療費助成事業」等により、子育て世代への支援に取り組んでいます。

●子育て福祉総合センター

「子育て支援のネットワークづくり」の拠点として平成26年に設置。保育関係者の情報交換の場や、子ども・子育ての総合案内窓口などとして活用されています。



●子育て拠点施設

地域内に気軽に利用できる交流の場を開設。安心して子育てができる環境づくりや子育て支援の地域ネットワークづくりを図っています。



安心して安全に暮らせるまちづくり

●災害に強いまち

「自助」、「共助」、「公助」による「災害に強いまちづくり」を進めています。平成27年2月には、市内全域に浸水被害に対処するため、「山口市総合浸水対策計画」を策定し、被害の軽減に取り組んでいます。



(写真左)創設した「雨水流出抑制施設設置補助金」制度のPRのため設置した雨水貯留タンク (写真中)防災行政無線 (写真右)山口市災害対策本部



●防犯に取り組むまち

防犯灯の設置補助制度や防犯パトロールなど防犯対策に取り組んでいます。また、消費者被害防止のため、山口市消費生活センターで各種相談に応じています。

(写真左)消費生活センターでの相談
(写真右)自治会等による防犯灯の設置



健康長寿のまちづくり

●山口市健康都市宣言

市民や地域、行政等が一体となった健康づくり機運の醸成のため、豊かな地域資源を活かし人々のつながりによって支えあう健康都市づくりをテーマに「山口市健康都市」を宣言。健康づくりを支える環境を整える取り組みを進めています。



●

健康的な食生活の確立

「毎日野菜をプラス一皿」を合言葉に、健康的な食生活を実践できる環境づくりを進めています。



●チャレンジデーへの参加

運動やスポーツを通じた元気な山口市を目指し、全国規模の住民総参加型イベント「チャレンジデー」に参加。平成27年は5月に開催、市民約10万人が健康づくりに励みました。



芸術・文化・スポーツ 受け継ぎ、はぐくみ、次代へ

山口情報芸術センター[YCAM]

Yamaguchi Center for Arts and Media

展示スペースや劇場、ミニシアター、図書館を併設する複合文化施設として平成15年に開館しました。YCAMでは、教育普及事業に力を入れ、子ども向けのオリジナルワークショップは平成25年に第6回キッズデザイン賞で経済産業大臣賞(最優秀賞)を受賞。メディア・テクノロジーを用いた新しい表現を探求する展覧会なども多く、YCAMの活動は世界的に評価されています。



中原中也記念館

Chuya Nakahara Memorial Museum



明治40年、湯田温泉に生まれた中原中也は、日本の文学史に大きな足跡を残した近代詩人です。「中原中也記念館」は中也の生誕地に平成6年に開館し、遺稿や遺品を中心とした貴重な資料を展示しています。何度も訪れて新鮮な中也の世界に触れられるよう、2~3ヶ月ごとに展示替えを行っています。

伝統芸能の継承

Traditional entertainment



[山口鶯流狂言保存会]狂言の三大流儀の一つ鶯流狂言。現在は山口・佐渡・佐賀のみに伝承されています。山口へは明治時代に萩からもたらされ、家元亡き後、昭和29年に有志が山口鶯流狂言保存会を結成、後継者を育成してきました。現在、県指定無形文化財保持者などが中心となって無料の定期公演やワークショップなどを開催。活動が評価され、平成24年、サントリー地域文化賞を受賞しました。

[徳地人形淨瑠璃保存会]明治時代に文楽関係者が徳地の堀・八坂地区に淨瑠璃を伝授したことを機に各集落で淨瑠璃講が生まれ、盛んに近郊を巡回上演するなどして戦前にかけて人気に。遣い手1人が7、8体の人形を地元考案の竹串で操り、淨瑠璃を語る三味線弾きと2人だけでも上演できるところが特徴。昭和44年に保存会を結成、昭和48年に県無形民俗文化財に指定されました。

レノファ山口 *Renofa Yamaguchi*



平成18年、山口県民が『夢・感動・元気』を共有できるチームとして設立されました。山口市・下関市・山陽小野田市・宇部市を中心とする全県をホームタウンとしています。念願のJ3昇格を果たしたばかりの平成27年は素晴らしい快進撃を続け、観客動員数は前年に比べて飛躍的に増加。市民の声援がチームの活躍を後押ししています。

スポーツ振興 *Sports*



「山口市スポーツの森」をはじめとした各種スポーツ施設や恵まれた自然環境を活用したさまざまなスポーツ活動の支援を行って、スポーツ振興に積極的に取り組んでいます。

MESSAGE

山口市合併10周年に寄せて



Kasumi Ishikawa

石川佳純さん
(卓球/平川出身)

1993年生。全農所属。2012年「ロンドンオリンピックシングルス」位、団体銀メダル。2015年「全日本卓球選手権」三冠、「世界卓球選手権」個人戦ミックスダブルス銀メダル。世界ランキング5位。(2015年現在)



Shouhei Ohno

大野将平さん
(柔道/吉敷出身)

1992年生。旭化成(株)所属。2014年「全日本選抜体重別選手権大会」73kg級優勝。2013年、2015年「世界柔道選手権」個人戦ミックスダブルス銀メダル。世界ランキング5位。(2015年現在)



Yoko Tanaka

田中陽子さん
(サッカー/小郡出身)

1993年生。ノジマステラ神奈川相模所属。ボジョン、MF。2008年U-17日本女子代表。2012年U-20日本女子代表。2013年なでしこジャパン(アルガルヴェカップ)

山口市で一番好きな場所は私が通った天使幼稚園と、サビエル記念聖堂。鐘の音や、きれいなステンドグラス…。小さいころよく連れて行ってもらった湯田温泉も思い出します。山口は空気がおいしいし、みんな優しい。ゆっくり休みたいとき、帰りたいって思います。ちよるの大ブレイク、期待しています!

山口市で一番好きな場所は維新百年記念公園。週3回、公園内の武道館へ柔道の練習に通っていました。実家の近くの土師八幡宮も思い出します。とても長い階段があり、トレーニングのため走っていました。山口は自然豊かでのんびりしたところ。盆や正月はやっぱり帰ります。

私が山口市で一番好きな場所は維新百年記念公園。友だちや家族とよく遊びに行っていました。山口は自然豊かで星がきれいなところ。リラックスしたいときや、のんびりしたいとき、帰りたいなって思います。お薦めの食べ物は外郎。人がたくさん集まるにぎやかな街になつてほしいです。